

# 令和5年第4回定例会(12月議会)の概要



中津市議会議員 大塚正俊



令和5年第4回定例議会（12月議会）は、11月28日から12月22日の25日間開催されました。令和5年度一般会計補正予算等の予算議案8件、条例議案8件、その他議案10件、人事案件6件、報告案件6件の計38件が上程され、すべての議案を原案どおり可決しました。なお、継続審査となっていた令和4年度一般会計等の決算認定議案12件も認定しました。

# 令和5年12月議会代表質問の概要

■私は、代表質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

## 1. 奥塚市政の2期目の検証と未来へ前進するための施策について

- ①行財政運営について
- ②福祉施策について
- ③教育施策について
- ④産業振興施策について
- ⑤街づくり施策について
- ⑥環境施策について
- ⑦人口減少対策について
- ⑧労使関係について
- ⑨アグレッシブな施策の展開



# 令和5年12月定例議会で決まったこと。【抜粋】

## 1. 令和5年度一般会計補正予算(第5・6号)

補正額14億3,273万円(補正後予算額507億387万円)

### □景観再整備事業費(福岡・大分DC関連) ; 196万円

- ・令和6年4月から福岡県・大分県・JRグループが共同で開催する福岡・大分デスティネーションキャンペーンに向けて、観光看板を整備する  
 桧原山展望所の支障木伐採に係る経費



桧原山展望所

## □観光事業（福岡・大分DC関連）；140万円

- ・福岡・大分デスティネーションキャンペーン期間の集客を図るため、市内の観光スポット（日本遺産の構成文化財等）を周遊するモバイルスタンプラリーを開催する。
- ・イベント事業委託料：1,397千円（システム構築）
- ・イベント予定期間間：R6年3月～R6年6月（4ヶ月間）



本耶馬溪町 古羅漢の景



中津城

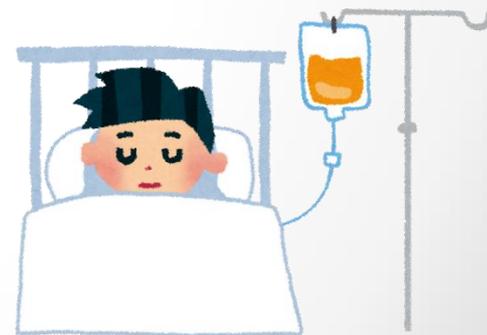
## □住民税非課税世帯給付金給付事業；8億5,157万円

- ・物価高騰の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯に対して1世帯あたり7万円を支給する。
- ・今夏の3万円の支給と合計で10万円
- ・対象世帯；12,100世帯
- ・給付総額；8億4,700万円、事務費；457万円
- ・支給開始時期；2月上旬から



## □子ども医療費助成事業；6,999万円

- ・発熱患者の増加等に伴う子ども医療費及びレセプト審査手数料の増額
- ・子ども医療費は対当初比30%増の見込み、手数料は対当初比10%増の見込み。
- ・補正後予算額；3億3,758万円
- ・令和6年度より、対象者を高校生まで拡大する。



## □国民健康保険事業特別会計（事業勘定）繰出金事業 ；247万円

- ・産前産後保険税繰出金 89万円  
令和6年1月から開始する産前2ヶ月と産後2ヶ月の国民健康保険税の免除に係る一般会計繰出金
- ・その他一般会計繰出金 158万円  
国保総合システム端末更新、産前産後保険税免除に係るシステム改修等

### 「国民健康保険税の産前産後免除制度」

令和6年1月1日から、出産される国民健康保険被保険者の国民健康保険税の所得割額と均等割額が、産前産後期間の4か月間（多胎妊娠の場合は6か月間）免除されます。

・出産日（出産予定日）が令和5年11月1日以降の出産被保険者にかかる保険税の所得割額と均等割額を免除します。

※ただし、免除対象月は令和6年1月からとなります。

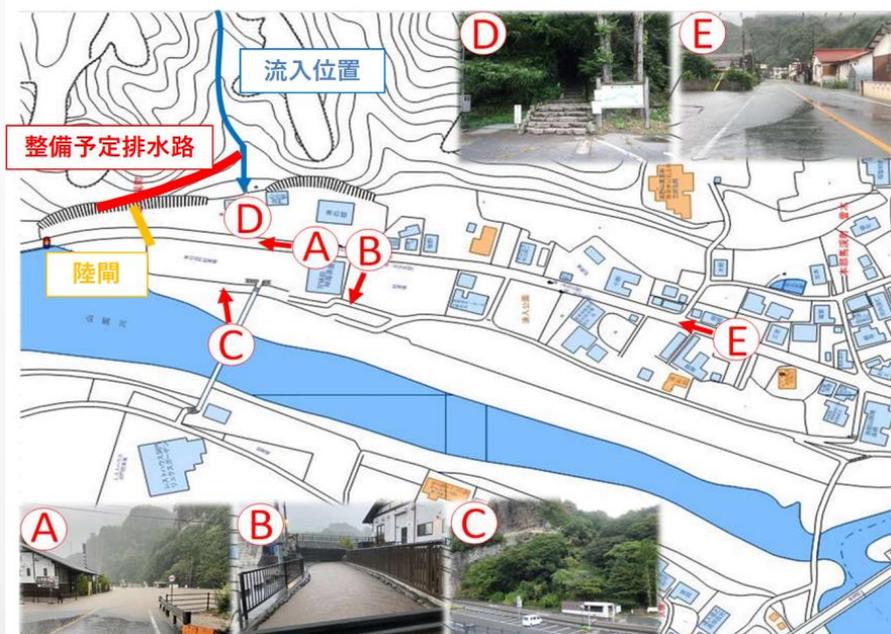
（例）令和5年11月出産の場合 → 令和6年1月分の保険税を免除

令和5年12月出産の場合 → 令和6年1月分・2月分の保険税を免除



## □排水路整備事業（本耶馬溪町青地区）；1,750万円

- ・ R5年7月豪雨により浸水被害を受けた青地区の浸水被害を防止するため、雨水の排水路整備を行う。
- ・ 測量設計委託料；1,500万円（工事区間；100m）
- ・ 土地鑑定・購入・補償費；250万円
- ・ 令和6年度以降、排水路整備工事 3,000万円（概算）



- 用水路整備事業（本耶馬溪町冠石野地区）；400万円
- 本年7月豪雨により浸水被害を受けた冠石野地区（浜岳製作所付近）の用排水路機能強化に係る経費
  - 測量設計委託料（L=210m）
  - 令和6年度以降に水路整備工事、土地鑑定・購入・補償；4,750万円（概算）

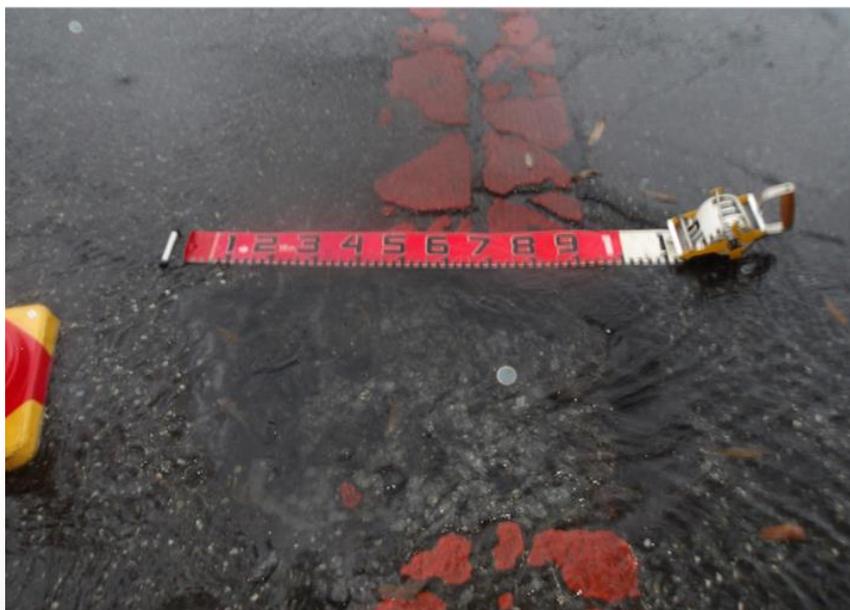


□林業振興事業（造林事業補助金）；940万円

- 造林事業（下刈り、間伐、作業道開設、幼齢木保護等）に対する補助金の増額
- 耶馬の森林活性化基金を活用
- 補正後予算額；3,440万円

□道路長寿命化修繕事業；3,600万円

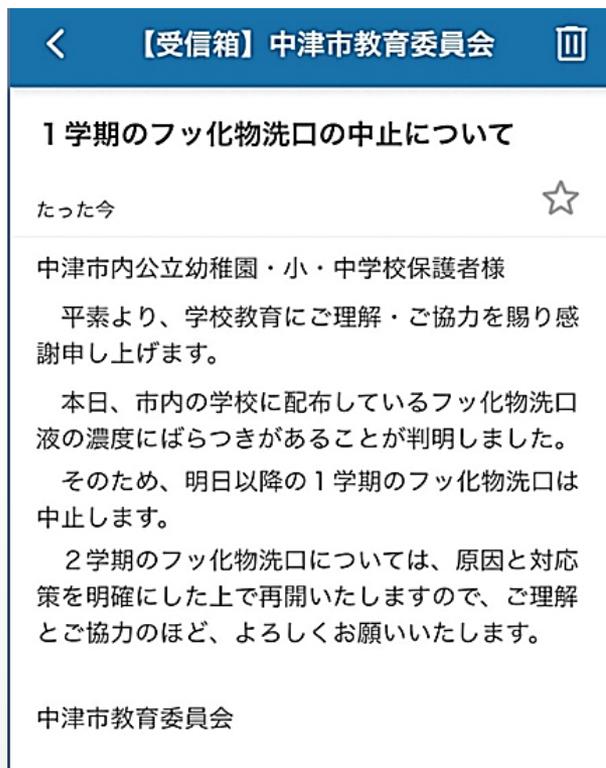
- 上ノ原佐知線舗装補修工事（工事区間；320m）
- 6月30日の豪雨により道路の舗装がはがれ事故が6件発生



## □小学校・中学校・幼稚園保健衛生事業

(フッ化物洗口液購入費) ; 180万円

- ・フッ化物洗口事業において、これまで洗口液は薬剤師指導の下、顆粒を溶解・希釈して作製した後に配布していたが、衛生面を考慮し、調整済み液体精製剤を購入・配布する。
- ・補助率：国1/2（上限121万円）、補正後予算額；519万円



フッ化物洗口液

## □公共交通事業者燃油高騰対策支援事業；100万円

- 燃料費高騰により厳しい経営状況にある地域交通事業者の事業継続を支援するため、乗合バス等の運行に必要な経費を助成する。
- 対 象：バス会社2社、タクシー会社6社
- 期 間：R5年10月～R6年3月（R5.9までは予算 措置済み）
- 補助額：燃料の県内市場価格（各月平均）と過去3年平均の差額（上限1/4）



## □水稲栽培農家経営継続支援事業；3,007万円

- 肥料等の価格高騰により厳しい経営状況にある水稲栽培農家を支援するため、栽培面積に応じて生産費（光熱動力費）を支援する。（対象数；642戸）

- 補助額

栽培面積 0.5ha以上1.0ha未満の生産者0.1ha当り1,700円

栽培面積 1.0ha以上の生産者0.1ha当り3,400円

但し、自家消費分として0.1haを差引く

※補助対象者は、中山間地域の小規模農家ではなく、地域の担い手として5反以上の水稲を作っている農家とした。



耶馬溪町での稲刈り

## □児童等被害防止対策推進事業；715万円

●民間の児童福祉施設に対して、保護者からの確認依頼に応えるためのカメラ設置や子どものプライバシー保護のためのパーテーション等の設置に係る費用を支援する。

- ・対象施設：74施設（保育所、認定こども園、病児保育施設等）
- ・補助基準額：県1/2、市1/4、施設運営者1/4（1施設あたり10万円）

●公立の児童福祉施設にもカメラ・パーテーション等を設置する。

- ・対象施設：16施設（保育所、地域子育て支援拠点、児童館等）
- ・補助基準額：県1/2（1施設あたり10万円）

※録画映像の取り扱いについて、市のガイドラインを作成する。



## 2. 条例の一部改正

### □中津市体育施設条例の一部を改正する条例

- 耶馬溪水上スポーツ施設（アクアパーク）の利用者が多く、昼間の長い夏の使用時間を拡大するとともに、施設の使用料について他市との均衡を図るため金額の見直し（約10%引上げ）を行う。
- 使用時間；7/1から8/31日まで 午前7時から午後6時まで  
その他の期間 午前9時から午後5時まで



アクアパークの水上スキー



バナナボート

### 3. 自由討議

#### (1) 中津市らしい子育て支援について（補足説明者：林 秀明 議員）

- ① どうすれば子どもたちが中津市を好きになってくれるか
- ② 子育て世代が真に求めること
- ③ 子どもたちのための条例について

##### 【私の主張】

- ・本年4月、子ども基本法が施行され、「こどもまんなか」をスローガンに子ども家庭庁が発足しました。
- ・こども基本法第11条では、子ども等の意見の反映が謳われていますが、子どもの声を行政や議会、家族で聞き入れることができていないのが現実です。
- ・そこで、子どもの意見を社会や家庭で尊重できるようにするとともに、子どもを真ん中に据えた子育てが達成できるようにする必要があります。
- ・そこで、市が子ども達のための条例を制定しないのであれば、議員有志で政策研究会を立ち上げ、子ども達と一緒に条例をつくることを検討してはどうかと考えます。



## (2) 一人暮らしの高齢者対策 (補足説明者：小住 利子 議員)

- ① 病気や介護・認知症等の対策
- ② 経済や住宅・生活環境の対策
- ③ 移動支援対策 (ライドシェア)
- ④ 詐欺被害の対策
- ⑤ 孤独死対策
- ⑥ 地域のコミュニティやボランティア活動

### 【私の主張】

・今、近所にバス停がなく、タクシーを呼んでもなかなか来てくれない、タクシー代の負担が大きい、娘に送り迎えをしてもらっているがいつも頼むわけにいかない。等の声を聞いています。

・高齢化の進展にともない、自宅で生活していくためには高齢者の足を確保することが急務です。

・そこで、ドアツードアのデマンドタクシーの運行を早期に実施すべきと考えます。





2023/12/12 大分合同新聞より

**編集後記（ひとりごと）** 今年の世相を漢字一文字で表す師走恒例の「今年の漢字」は、「税」に決まりました。1年を通して増税の議論が行われたことなど「税」にまつわるさまざまな議論が行われたことが理由ですが、増税メガネははずしてほしいですね。（まさとし）